

群馬菱の実会だより

平成19年度ボランティア活動のご案内とお願い

菱の実会は、ここ数年会員数が増えるのに伴い愛好会活動も活発になっています。そこでボランティアも今まで以上に活発にし、より地域社会に貢献しようと言うことで、今年の総会の時、ボランティアの呼びかけを行い、47名の多数の方にボランティア登録をしていただきました。大変有難うございました。

菱の実会のボランティア活動は、MGV(三菱電機群馬ボランティア会:1998年4月発足)活動の支援をメインとしております。

MGVの主な活動は、地元行政と連携を取りながら地域に密着した活動を継続しておりますが、菱の実会の支援はその活動を継続して行く大きな原動力になっております。

ボランティア活動は、土曜日を利用しての活動が殆どで、参加者との情報交換の場として参加いただくと、活動もまた一味違う楽しみになるかと思えます。

都合のつく際には、是非ともご参加いただきますようよろしくお願いいたします。

<運営の仕方>

- ① ボランティアのお知らせは、菱の実だよりの「お知らせ欄」に掲載します
- ② 登録、参加申込みは、事務局まで

TEL:0276-52-3874 FAX:0276-52-3207 メール hishinomigunm@air.con.jp

- ③ 参加申込みが少ない時は、担当の高柳静雄幹事より登録票に基づいて参加要請させていただきます。

<「MGV」の平成19年度主な行事>

日程	行事名	実施内容	備考
4月14日	芝桜植栽	太田市北部運動公園	実施済
6月	福祉作業所作業応援	ホチキス針箱詰め(ぴっころ作業所)	実施済
7月28日	町道樹木剪定	会社前市道の金木犀(78本)剪定	
8月15・16	ねふたまつり片付け	朝6時からねふた会場の清掃	
9月?日	太田金山清掃	大光院から山頂までの下草刈り等	
9月10~13日	福祉作業所作業応援	ホチキス針箱詰め(ぴっころ作業所)	
11月?日	独居老人宅枝下し	町内独居老人宅の枝下し	
08年1月1日	実業団駅伝交通整理	ニューイヤ-駅伝中継点交通整理	
第2・4土曜日	国道清掃	R354・R17の交差点付近清掃	毎月実施

福祉作業所応援は、平日の作業応援となりますので、菱の実会の方が中心に対応しています。

「尾島ねふた祭り」のご案内と参加のお願い

尾島ねふたまつりへの「三菱ねふた」の出陣(参加)は、昭和63年以降連続参加し今年で節目の20年を迎えることとなります。現在、出陣に向け、ねふた絵の制作(菱の実会:畠山さん)、本体ねふた・太鼓台車等の準備が、関係者により進められております。

近年従業員の減少により、当日の運行要員確保が年々厳しい状況になっており、毎回菱の実会の皆様をはじめ地元岩松地区の方、近隣企業・サッカークラブ等へのご支援をお願いし、運行しているのが現状とのことです。

については、今年も菱の実会の皆様で8/14(火)・15(水)の何れか都合のつく日に、是非とも参加頂き、菱の実会として「三菱ねふた」の支援をしていきたいと思えます。ご協力をよろしくお願いいたします。

菱の実「雑学」クロスワードパズル 【ことわざ編】

【よこのかぎ】

- 1 ○○が強い。個性が強すぎてなじみにくい性格。
- 3 「何れ菖蒲か ○○○○○」。優劣つけがたい意。
- 7 暴風雨の前兆として、海上から鳴り響いてくる音。
- 9 「○○○を切る」あえて自分で支払うこと。
- 10 2点間の電位の差。単位はボルト(V)。
- 12 二人ですること。○○で話す。
- 13 利息の元金に対する割合。
- 15 「山といえば川」のたぐい。
- 17 「敵に○○を送る」苦境にある敵を助ける。
- 18 新聞雑誌などの紙面の割付け。
- 21 人の見落としがちなところ。○○○○を突かれる。
- 23 「雀百まで○○○を忘れず」幼い時からの習慣は年老いても抜け切れない。
- 24 聖母マリアの称号。あこがれの女性。

1	2		3		4	5	6
7		8			9		
		10		11			
	12			13		14	
15			16				
17			18		19		20
21		22			23		
		24					

【たてのかぎ】

- 22 相互の微妙な気持ち一致することという。
- 20 共に事を行うための集まり。仲間。団体など。
- 19 中国原産のバラ科の落葉高木。果実は果実酒に。
- 16 「○○○○があう」筋道が通る。
- 15 トラップのゲームでジョーカーのこと。転じて、嫌なものや価値のないもの。
- 14 タラを野菜、豆腐などで煮てポン酢醤油をつけて食べる鍋料理。
- 12 「大和○○○○」。日本女性の美称。
- 11 現場不在証明。
- 8 「人間万事○○○○が馬」人生は吉凶・禍福が予測できないことのとたとえ。
- 6 若い人。○○○○の祭典。
- 5 「○○○○を見る」弱みにつけこむ。
- 4 趨勢。動向。流行。
- 3 「○○○○に塩」力なくしおれたさま。
- 2 三人組。
- 1 ある事のために費やす時間、労力。

○の文字を並べ替えて、ことばを。

<ヒント>

「前門の虎、後門の ○○○○」

一難去ってまた一難 同じ意味のことわざ。

表門からの虎を防いだと思ったら、裏門から○○○○が現れる。一つの災難を逃れたかと思うと、またほかの災いがふりかかってくる。

出題：篠崎 辰夫

三菱電機群馬製作所の8月のカレンダーです
会社の休日は、菱の実会事務局も休みです

秋の親睦旅行の予告ご案内

今年の親睦旅行は、10月17日(水)、18日(木)の2日間、

『会津の奥座敷・芦の牧温泉』

の旅を 予定しております。
詳細は、次回発行の菱の実会だよりにてご案内いたしますのでご期待ください。

			8			
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

【 会員投稿 】 Tokyo 漫歩 (その5)

ひまじん

芭蕉さん

日本の歴史上の人物で「……さん」と呼ばれる人を、思い出してみると。弘法さん・良寛さん・一休さん・西郷さん・東郷さん等々を想い浮かべるが意外に少ないようだ。普通名詞的な「さん」という敬称には、尊敬プラス親しみが必要なのであろう。芭蕉にはオカシ味がやや少なく、さんを付けるのに若干抵抗があるが、まあいいか。芭蕉さんはもともと伊賀の人、関西方面で頭角を現し、江戸に来た頃には俳諧の世界では、そこそこ知られた存在であったらしい。やがて、深川に草庵を築き、その庭に芭蕉の株を贈られてから、庵の名も「芭蕉庵」、号も桃清から芭蕉に改めた。それまでの、やや華やかな宗匠の生活から、俳句一筋の境地への変化の表われだったかもしれない。この庵も人に譲ったり、火事にあたりと、当然の変遷があるが、深川の大川端にその痕跡を残した。

芭蕉記念館 (江東区常盤 1-6-3)

ここへは地下鉄大江戸線森下町が便利、徒歩10分位である。この記念館は昭和 56 年に開館されたというから比較的新しい。芭蕉及び俳諧関係の資料が多数展示されている。周辺には芭蕉稲荷・展望庭園等ゆかりの事跡もある。隅田川の東側からみる都心部の高層ビルの風景もまた一興。



(芭蕉記念館)



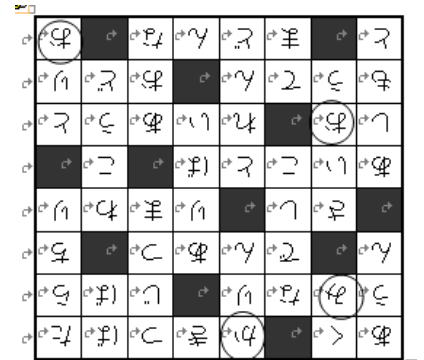
(史跡庭園)

ここからは「清澄庭園」も近く、「深川江戸資料館」もあって、古い深川を探るのに好適な場所だといえよう。

芭蕉の句

特に詳しいわけではないが、記念館を見たつもりで、若干のご紹介をしましょう。

「行春や 鳥啼き 魚の目は泪」 ……奥の細道 旅立ちの折
 「夏草や 兵どもが 夢の跡」 ……平泉 衣川を望み
 「旅に病んで 夢は枯野を かけ廻る」 …… 辞世のうた



※ (籤) ミ 4 4 4

この「会員投稿」のコーナーへの投稿を募集しています。「つれづれのまま」「旅行記」「写真集」「思い出話」「趣味悠々」「シニアライフ」「提言」……などなんでも結構です。電子データやワープロ等でお気軽に投稿下さい。事務局あて又はメール (hishinomigunma@air.ocn.ne.jp) をお願いいたします。

◇ おしらせ ◇

		日時	場所	申込み、その他
1	8月の 囲碁愛好会	8月13日(月) 9:30～	赤城倶楽部	ご自由にご参加ください
2	8月の麻雀会	8月9日(木) 8月23日(木) 9:30～17:00	赤城倶楽部 会費2000円	申込み8/8(水)19日(日) 下山國夫(0277-78-3204) 荒井昭三(0276-52-0803)
3	8月 グラウンドゴルフ 夏季大会	8月20日(月) 8月21日(火) (一泊)	榛名吾妻荘 会費:11000円	申込:8月13日(月) 先着25名 詳細は参加者に後日連絡 高橋勝美(52-0398)
4	第33回 ゴルフ愛好会例会	10月上旬予定		萩原(56-3852)関根(31-8410) 川口(56-2678) 長谷川(0270-74-2056)
5	9月の パソコンサークル	9月3日(月) 13:30～15:30	労組事務室	ご自由にご参加ください
6	9月の カラオケ月例会	9月3日(月) 17:30～20:30	カラオケ本舗 「まねきねこ」 0276-52-3450	申込み:8月31日(金)まで 佐藤辰利(0276-52-4688) 大橋 浩(0276-52-3866)
7	編集委員会	8月27日(月) 13:30～	組合会議室	都合の悪い場合は、事務局まで忘れずにご連絡をお願いいたします
8	幹事会	9月3日(月) 16:00～		
9	【ボランティア】 ねぷたまつり片付け	8月15、16日 朝6時から	ねぷた会場	事務局まで tel、fax、メール等で

編集後記

今号は、ボランティア活動のご案内とお願いを特集しました。

先の新潟中越沖地震では、たくさんのボランティアが、後片付けや物資の運搬などに活躍して、被災地の皆さんの大きな力となっております。その様子がテレビで映し出される度に、頭が下がる思いがします。菱の実会員の家族の中にも、被災されて避難所暮らしの方がおります。

心よりお見舞い申し上げたいと思います。

ところで、今後菱の実会のボランティア活動は、その都度上記<おしらせ>欄に掲載してご案内して参ります。早速8月は「ねぷたまつり」の後片付けがあります。都合のつく方は是非ご協力下さるようよろしくお願い申し上げます。

<編集委員一同>

発行 2007-8-6 No.172

発行責任者 長嶺 元

編集:「菱の実会だより」編集委員会

三菱電機労働組合群馬支部

〒370-0492 群馬県太田市岩松町800

TEL 0276-52-3874 Fax 0276-52-3207

菱の実会だよりホームページ アドレス <http://www18.ocn.ne.jp/~hishimig/>